

平成18年度東北海区海況予報 第2号

平成18年6月16日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2006年6月下旬～7月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、著しく南偏～かなり南偏(35°N～35°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並に推移する。
- (3)根室沖、三陸沖、常磐沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(38°30'N～39°Nまで)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°50'E付近まで)で推移する。

〈海況の経過(2006年2月～2006年5月)の特徴〉

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏～著しく南偏(36°10'N～35°10'N)で推移した。
- (2)暖水塊が、根室の東南東沖合約180km*、常磐沖約270kmにあった。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、2月にかなり南偏した(37°50'Nまで)が、4月には平年並(39°10'N)であった。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並であった。
- (5)表面水温は、2月には三陸沿岸を中心にして1～2°低く、3月はやや回復したものの、4月に再び低温傾向が続いた。

〈現況(2006年5月下旬～6月上旬)の特徴〉

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(36°10'N)である。
- (2)根室東南東沖*、常磐沖の暖水塊は停滞している。また、三陸沖に暖水塊がある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏している(38°30'N)。
- (4)常磐沖に冷水域がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並である(142°10'E)。
- (6)表面水温は、三陸沿岸から沖合にかけて1～2°低くなっている。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による